

射技・体配説明担当者の役割および発言範囲 相互研修時の参加者同士の助言について

本錬成会に配置される射技・体配説明担当者は、本会の趣旨である「合同練習会」としての自主的な研鑽と相互交流を尊重する立場から、以下の範囲で発言・助言を行います。

1 射技・体配説明の時間(13:10~)

- ・説明担当者は、自身が日頃の稽古において留意している射技・体配上のポイントについて、実際に行射しながら説明を行います。
- ・内容は、射法八節、手の内、体配等に関する考え方や工夫の紹介であり、特定の形や方法を強制するものではありません。
- ・説明後の質疑応答は、考え方の確認や理解を深めるためのものとし、個別の技量評価や正指導は行いません。

2 グループ別 射技相互研修の時間(13:40~/15:05~)

- ・説明担当者は、各射場において行射を見守りながら、良い点を中心とした簡潔な助言や気づきの提示を行います。
- ・助言は、行射者本人が今後の稽古の参考とするためのもの、また参加者同士の対話や気づきを促すためのものに限定します。
- ・体系的・継続的な指導、矯正を目的とした助言、評価的な発言は行いません。
- ・助言は短く要点にとどめ、行射数や進行を妨げないよう配慮します。
- ・相互研修では、参加者同士で行射を行う者に見ている者が良い点・改善点の助言を行ってください。低段の方が高段の方に助言は難しい部分もあるかと思いますが、特に称号者の方は、低段の方に簡単な助言をしてあげてください。

3 自由練習時間帯(15:05~)

- ・自由練習射場では、原則として説明担当者からの助言は行いません。
- ・助言用射場においては、希望者に対し前項と同様の範囲で助言を行いますが、指導を受けることを前提とした時間ではないことをご理解ください。
- ・説明担当者助言用では、前半の射技相互研修の番号の続きで助言を行います。

4 共通事項

- ・説明担当者の発言は、すべて参加者の主体的な稽古を尊重する立場で行われます。
- ・発言内容の取捨選択は各自に委ねられ、取り入れ方についての責任は参加者自身にあります。
- ・本錬成会は、講習会・審査・強化指定練習ではありません。